

## CT 研究会&チューリップの会 感想

富山県立中央病院 坂下真俊

・私は今回「チューリップの会・CT 研究会 合同研修会」に初めて参加させていただきました。私は CT 経験年数が短く、まだまだ未熟であるため今回の研修会に参加できることを楽しみにしていました。

今回の研修会で最も印象的だったのは、基礎講座の「超基本的な患者接遇からポジショニングまで」の講義です。医療従事者として患者接遇は円滑に検査を進めるためにも非常に大切なことであるとともに、個人的には最近 CT 検査における基本的なポジショニングと CT-AEC に関して少々勉強していたため、非常に有意義な講義でした。特に、CT 検査において、寝台の高さを適切な位置に設定しないと、スカウト像が通常より拡大または縮小してしまい、CT-AEC を正常に機能させることができなくなり、被ばく線量や画質に影響を与えてしまうという話は非常にわかりやすく改めて勉強になりました。放射線技師として少ない被ばく線量で診断に最適な画質を提供するにはどういった工夫をするべきかを考えることは重要なことであるため、今回の講義を聞くことができ本当に良かったです。

また、今回の研修会の最後にはスキルアップ講座として多くの先輩技師さん方による資格取得に関する話も聞くことができ非常に参考になりました。各モダリティの専門技師認定試験についての詳細やどんなふうに勉強したかなどを知ることができ、実際に自分が資格を取得するために勉強していく際の参考になりました。何か目標を持って仕事をすることは自分のレベルアップに必要なことであるし、資格を取得したり、そのための勉強を継続して行うことは業務に対するモチベーションの向上やスキルアップにもつながると改めて実感しました。

今回の研修会では、CT 検査に関するだけでなく、診療放射線技師として働く上で非常に大切なことを学ぶことができました。今回学んだことをこれからの仕事に生かしていくとともに、もっと研鑽を積んでいかなければならないと感じました。